## 平成二十八年十二月十五日 平成二十八年第四回都議会定例会を終えて 談話)

## 東京都議会自由民主党幹事長 高木

申し上げ、東京都議会自由民主党として深甚なる弔意を表します。誠に哀悼痛惜の念に堪えません。ここに、改めて崇仁親王殿下のご冥福をお祈三笠宮崇仁親王殿下におかれましては、去る十月二十七日に薨去されました。

施設の する議案については、運営の継続性、専門性や人材の育成・確保の重要性など、 本日終了 [終了いたしました。なお、知事提案の都立文化施設の指定管理者の指定に関処回定例会は、知事提案の全議案を議決し、議員提出議案二件を否決して、 特性に十分留意するよう、 我が党が提案した附帯決議が採択されました。

本定例会では、 都民の与党」としての立場から、精力:例会では、来年度の予算編成へ向けて、 精力的に質疑を行いました。 知事の基本姿勢や政策方針等

ました。 をすることで、都政を円滑に前に進め、都民福祉の向上に最大限取組質すとともに、議会の権能である行政の監視、建設的な批判、修正、 質すとともに、議会の権我が党は、地方自治の であればこそ、知事就任後初となる幕三司三月ミニューのは、観会人の信念です。した。これは、知事が誰であろうと変わることのない、議会人の信念です。 答弁調整を行わなか ルの下で、 本会議や委員会での質問を通じ、なかったことの経緯について述べ 組んでまいり対案の提案

したいという表明があり、拒否をされました。そして同様に、今定例会でもルー知事からは、都議会と知事、職員の馴れ合いをやめたい、日本的な根回しを廃止問通告をし、これまでの慣例に従った答弁調整を申し入れました。しかし、小池であればこそ、知事就任後初となる第三回定例会において、我が党は必要な質 ルに従って必要な質問通告は行いましたが、答弁調整はできませんでした。

ことを認め、訂正せざるを得ませんでした。 稿を読み上げましたが、 十分な内容でありました。 その結果、代表質問での知事答弁は、 知事がバ **邓事がバッハ会長に渡した文書については公文書である我が党の再質問に対し、知事は理事者側が用意した原い知事答弁は、28 問中19 問が答弁漏れという、極めて不** 

でしょうか、甚だ疑問を感じるものです。 事が言う 東京大改革」とは、 このように議会を形骸化させることだった  $\mathcal{O}$ 

家会議、 性」が確保され 土壌汚染対策法に基づく措置は適切に講じられており、 都議会では、豊洲市場次に、市場移転問題に 市場問題プ をは、都民の 旁れていることが、 『題プロジェクトチームでの質疑も通じ、建屋の構造の安全性や、豊洲市場移転問題特別委員会で実質的な審議に入りました。専門1転問題についてです。 改めて検証されました。 安全

今後 安心」をどう届けていく 0) か、 市場業者の早期 の保

ました。 証をどう実施するかなど、 様 々な取組を進め、 信頼回復が図られるよう強く求

オリンピック施設 ついてです。

経費削減に向けた緊急提言をまとめ、知事に提言しました。 出した3兆円の数字は、別経費を積み上げても、 費が3兆円を超える可能性があると指摘 の誇大宣伝と言わざるを得ません。 した3兆円の数字は、 事が主催する都政改革本部 明らかにミスリードであり、 大会総経費は約2兆円にしかなりません。 の調査チー このため、 しましたが、 ムが出した報告書によれば 我が党は、 7は、2020年東京大会の削減額を大きく見せるため 現時点で公表されている個 調査チームの 大会総経

経費削減や山積する課題に向け、 いま、 必要なのは、責任ある関係者が同じテーブルに着き、 対応策をとりまとめることであります。 知恵を出 し合

責任ある行動とチームプレーに徹していただくことを強く要望しました。 役割分担と費用負担の見直しなど、 とりわけ、都 ・組織委員会・国の三者協議を早急に開催し、 具体的協議に着手するべきです。知事には、三者協議を早急に開催し、大会総経費の削減、

に、区市町村や民間電線管理者 るものであり、 する条例案を検討すると発言されましたが、 びに無電柱化の更なる推進を求めてきました。知事は所信表我が党は、かねてより東京から電柱をなくすことを政策集 は、かねてより東京から電柱をなくすことを政策集に掲げ、無電柱化の推進です。 今後、無電柱化推進計画における整備目標を上方修正するととも への支援など、 これは、 取組を拡充していくことを求めま 我が党の政策と軌を 一にす 明で無電柱化を推進 機会あるた

を打ち、 はなく、地に足の着いた政策を着実に推進することです。を打ち、執行機関と議会が切磋琢磨しながら政策協議を続け、 

ともに、議会の権能である のもとで建設的な議論をなし、本東京都議会自由民主党は、美 の与党」 精力的に活動をして 行政の監視、 し、都政に責任を持ち、さらに前進させていくと着実かつ確実にこれらの解決に取組み、二元代 建設的な批判、 いくことをお約束申り 修正・対案の提案」に し上げます。